

- 世界選手権インタビュー 宮崎義仁男子監督……【2】
 世界選手権インタビュー 村上恭和女子監督……【3】
 世界選手権インタビュー 近藤欽司JOCエリートアカデミーコーチ……【4】
 世界選手権インタビュー 張一博(東京アート)……【6】
 世界選手権インタビュー 藤井寛子(日本生命)……【7】
 大会報道 平成22年度前期日本リーグ所沢大会……【8】
 交流合宿 東アジアホープス交流合宿……【9】
 大会報道 第23回全国ラージボール大会……【10】
 大会記録 平成22年度前期日本リーグ所沢大会……【12】
 大会記録 第23回全国ラージボール大会……【16】
 大会記録 第60回関東高校大会……【21】
 日本の肖像 青木信彦(東京都立多摩総合医療センター院長)……【24】
 フレッシュインタビュー 足立智哉(早稲田大学)……【26】
 夢に向かった散歩道 近藤欽司(JOCエリートアカデミーコーチ)……【28】
 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……【30】
 中学生の指導 多田進(親愛ムーススクール代表)……【32】
 もっと素敵に卓球 山中教子(サウンド球貴代表)……【34】
 ラージボールチーム紹介 大和市ラージ卓球連合会……【45】
 特別企画 東山高校(京都)インターハイ60年連続出場……【51】
 ショップ紹介 ウチダスポーツ(山口県)……【55】
 チーム紹介 瀬戸内スポーツ少年団(岡山県)……【56】
 卓球場訪問 いつき卓球場(静岡県)……【57】

- ピンポン東西南北……【35】
 第5チャンネル……【36】
 各地レポート……【38】
 各地ラージボール大会……【44】

- みんなのコーナー……【50】
 編集室……【50】
 ニッタク講習会……【58】
 卓球ファンnet……【60】

Message

前回、このコーナーで藤井寛子選手(日本生命)のことに触れ、姿勢がよくなり、何か大きなヒントを掴んだのではないかと紹介した。

日本リーグ前期大会が6月17日～20日まで埼玉県所沢市で開催され、前日に日本生命対十六銀行のホームマッチが東京で行われた。

ホームマッチでも本大会でも、世界選手権と同じプレーをしていた。

大会中に世界選手権の話と、どうして姿勢がよくなったのか、ということについて聞いてみた。

姿勢については、昨年から身体の使い方を勉強しています、と言っていた。

1月の全日本、その後のトレセンでの合宿では気がつかなかったが、最初にテレビ画面から彼女の姿勢を見たとき、正直驚き、また、これまでとは違うプレーをしていたことにも驚いた。

「時間と空間」がわかったのではないですか、と尋ねると、なんとなくわかった気がします、と答えた。このままだいけば、来年1月の全日本で日本一になる可能性が十分あります、と――。

ただし、ほんの少し姿勢の中に「しなやかさ」、「柔らかさ」が出ること。そして「地面反力」、「サイドアクシス(側軸)」が意識できるようになること。

夢が現実に――。(片野)



表紙
 インターハイ60年連続
 出場を決めた東山高校
 撮影 温哲亮